

長野県立大学
後援会

会報

2021.3

Vol.4



3学期からの対面授業開始にあたり、後援会の新入生歓迎企画として正面出入口周辺にバルーンアートを設置しました。

CONTENTS

表紙

- 1 学科紹介 グローバルマネジメント学科長
 食健康学科長
 こども学科長

2 **Campus Topics**

- 対面授業開始
- 3 ● 新型コロナウイルス感染症予防対策
- FUN MINI
 - 学長表彰

4 **【特集】 発信力ゼミ紹介**

- 東 俊之ゼミ
- 5 ● 織田 竜也ゼミ
- 萱津 理佳ゼミ
- 6 ● 金 賢仙ゼミ
- 谷口 真由実ゼミ
- 7 ● 野口 暢子ゼミ
- 馬場 智一ゼミ
- 8 ● 三浦 正士ゼミ
- 宮森 征司ゼミ
- 9 ● 山本 直樹ゼミ
- 宮城 正作ゼミ

裏表紙

Information

学科紹介

グローバルマネジメント学部 学部長 グローバルマネジメント学科 学科長 森本博行 教授

グローバルマネジメント学部は、グローバル人材の要請に応える目的で創立されました。グローバル人材に必要な要件は、第一にコミュニケーション能力であり、第二に異文化社会と触れあうことのできる積極的な協調性や協働の意欲、第三に自分の意見の論理的な表現力です。本学では、そのため英語集中授業と海外実地演習、1年次全寮制の実現、アクティブ・ラーニングを採用した教育プログラムを実践することを教育目標に掲げてきました。残念なことに昨年のご存じの通り、新型コロナウイルス感染症のグローバルな拡大で、海外実地演習は中止、全寮制も限定的な実施でした。もっか授業は、オンラインと対面とのハイブリッドで行っていますが、ゼミナールは衛生環境を配慮した上でできるだけ対面で行うなど、学生同士の交流、学生と教員との一体感の確保など、心がけております。何とぞ、皆様のご理解のほどお願い申し上げます。



健康発達学部 食健康学科長 中澤 弥子 教授

食健康学科では、栄養学を中心とする、食物や人体に関する専門知識・技術を修得するために講義のみならず大学内での各種実験・実習、保健所や病院など学外施設での臨地実習を行う教育課程となっています。2学期まではオンラインでの講義が中心でしたが、3学期から対面授業による大学校内での実験・実習が開始されました。学内では3密を避けるため2箇所の実験・実習室に分かれ、感染予防のための細心の注意を行いながら実験・実習を行っており、関係の皆様のご尽力とご協力のおかげで、臨地実習も実施されています。3・4学期に実験・実習が集中して行われているため、学生達は非常に頑張って多くの課題をこなしています。オンライン授業で培った積極的に質問や意見する力を対面授業や臨地実習でも発揮し、大変熱心に授業に取り組んでいます。今後も最善の教育を行うために、教職員一丸となって努めてまいります。今後ともご支援・ご協力の程、どうぞよろしくお願い申し上げます。



健康発達学部 こども学科長 太田 光洋 教授

こども学科は、長野県で唯一の保育・幼児教育を学ぶ4年制大学として開学し、各学年40名の学生と15名の教員、主として3名の事務職員で学生の学びをサポートしています。昨年は、1年生の全寮制見送り、2年生の海外プログラム延期、3年次の学外実習延期などさまざまな制約が生じましたが、7月より一部対面授業を実施し、オンライン授業とあわせて今日に至っています。また、2・3年生はそれぞれ2週間の学外実習に参加しました。今年度、学科では、自宅でピアノ練習ができるよう全学生にキーボードを貸し出せるようにしました。さらに、希望する学生がさまざまな地域の保育実践や文化に触れられるよう全国10園程度の保育所や幼稚園、こども園等と提携して、新年度からインターンシップを実施の予定です。また、卒業研究に向けたゼミ、卒業後の就職支援として公務員試験対策も始まりました。あわせて、上越教育大学大学院との連携協定を結ぶなど卒業後の進路開拓を進めています。今後とも、ご理解・ご支援をよろしくお願いいたします。



Campus Topics

2020年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、学生が集い学ぶキャンパスも度重なる入構制限が行われる異例の年となりました。10月1日から感染防止対策を徹底した上で、新しい学生生活が始まりました。授業は、対面授業、対面+オンライン授業、オンライン授業の形式で実施されました。また、学園祭は中止となりましたが、学生たちが企画した「FUN MINI」が開催され、キャンパス内に学生たちの笑顔が溢れました！

対面授業 再開しました！



新型コロナウイルス 感染症対策 こんな取り組みを 実施しています！



FUN MINI

10/28、11/4、11/5～11/12の期間、FUN MINIが開催されました。
(後援会からの助成により学生は各種イベントを実施しました。)

食健康学科 藏方 マリモ

文化祭はできなくなってしまったけど、学生生活の思い出になるイベントをしたい—
長野県立大学では例年、学園祭FUNが開催されていました。しかし、今年には新型コロナウイルス感染拡大防止のために中止となってしまいました。そこで、何か学生が楽しめるイベントはできないかと思い、このイベントの開催を決意しました。

FUN MINIで行ったのは野外ライブとフォトスポットラリーです。野外ライブは、学生に出演者をつのり、広い空間で開催することで、学生が思い思いの場所で音楽を楽しんでもらう形で行いました。フォトスポットラリーは、学生同士のグループを組み、期間を設けて学内を巡り、写真を撮りながら交流する形で行いました。ZOOMを利用した説明会や、感染症対策を取りながらの開催に不安もありましたが、参加した学生の笑顔、他学年間の交流の様子を見ることができ、FUN MINIを開催できてよかったと心から思いました。

このイベントは、従来の学園祭とは違う形となりましたが、新しい学園祭づくりができたと思います。どんな状況でも、学生自身でできることを探し、楽しみたいという気持ちがあれば、学園祭はつくることができると実感しました。



FUN MINI当日の写真と動画はこちらのQRコードからご覧ください。

※動画は後援会「学生の様子」よりご覧になれます。

企画者 前崎隆一郎（3年） 柿手奈美恵（2年） 藏方マリモ（2年）
吉川 遼（2年） 小池 美朝（1年）
動画作成者 Ortiz Andrei（オルティス アンドレイ）（3年）



学生表彰

令和元年度、学業において優秀な成績を修めた下記の学生が学生表彰を受賞しました。
10月13日（火）に、学長賞の表彰式を行い、学長より受賞者に賞状と記念品が授与されました。
学部長表彰については、学部、学科ごとに賞状の授与を行いました。

学長賞

| | |
|---------------|---------------|
| 19G004 安藤 桃 彩 | 19G062 齊藤 遥 |
| 19F004 伊藤 柚美佳 | 19C037 山崎 舞 |
| 18G076 佐藤 仁 哉 | 18G128 深澤 果 歩 |
| 18F014 静野 天 音 | 18C014 篠原 愛 美 |



学部長賞

| | | | |
|---------------|---------------|----------------|---------------|
| 19G031 小野 杏 美 | 19G036 金高 奈菜未 | 19G047 久保田 花 音 | 19G060 小山 美佳莉 |
| 19G067 笹原 舞 夏 | 19G076 塩川 南 | 19G097 田幸 美 月 | 19G101 田村 航 大 |
| 19G150 宮嶋 楓 茄 | 19G165 吉田 志 織 | 19F008 鴨志田 涼 花 | 19F014 下形 真 央 |
| 19F030 湯本 さつき | 19C007 今井 咲 | 19C013 北島 智 花 | |
| 18G033 沖田 佑 菜 | 18G047 金井 瑠 南 | 18G048 金澤 優 貴 | 18G079 篠遠 七 愛 |
| 18G141 牧田 侑 樹 | 18G154 宮嶋 桃 子 | 18F023 林 杏 香 | 18F028 宮崎 明日香 |
| 18C006 小川 栞 | 18C010 小林 音 羽 | 18C027 藤垣 若 菜 | |

発信力ゼミ紹介

1年生全員が履修する発信力ゼミでは「人に伝えること」をメインテーマとして一人ひとりが能動的に発信する能力を磨きます。

ここでは以下のとおり各ゼミの取組を紹介します。

担当教員
ゼミのテーマ
ゼミの内容や特徴等
写真
ゼミ生Voice



参考：昨年度の対面式による発信力ゼミ合同発表会では、後援会のキャリアアップ事業からの支援をいただきました。

東 俊之ゼミ

担当教員：

東 俊之（あずま としゆき）

ゼミのテーマ：

「伝統産業」をテーマに大学での学びを体験する

ゼミの内容や特徴等：

1組では、「伝統産業」を調査・検討することで“大学での学び”（＝学問すること）を体験します。前半（3学期）は、「リサーチ・ペーパー」（レポート）を作成します。各自が設定した伝統産業に関連するテーマについて、情報収集や考察を行い、最終的にアカデミックな文章にまとめます。また後半（4学期）は、グループでプロジェクト活動を行います。伝統産業の課題を一つ取り上げ、「問題発見⇒調査⇒問題解決策の提案」のプロセスをメンバーで考え、最後にグループ発表を行います。



ゼミ生 Voice：

グローバルマネジメント学科 前川 素絵

発信力ゼミ1組ではリサーチ・ペーパーを作成しました。私は「異常気象による信州そばへの影響とその対策」というテーマでアカデミックな文章作成を行いました。この課題は、文章を書くことに対して苦手意識があった私にとって、非常に難しかったです。しかし、このような経験ができたことは、自分の財産になったと思っています。今後も「発信する力」を磨いていきたいです。

織田 竜也ゼミ

担当教員：

織田 竜也 (おだ たつや)

ゼミのテーマ：

真っ直ぐに他者と向き合う

ゼミの内容や特徴等：

人前で自分のことを語るのは気恥ずかしいものです。家族や友人であっても将来の夢や理想を打ち明けるにはちょっとした覚悟が必要かもしれません。内気な自分を克服して堂々と自分の内面を表現する。このゼミではそんな姿を目指して「自分の将来像」というテーマでスピーチの練習を行っています。初回は3分で。次の6分は動画で。最後の9分は時計も原稿も見ないで。学生のまなざしや表情の変化に触れると練習の効果を実感します。



ゼミ生 Voice：

グローバルマネジメント学科 牧野 智慧

このゼミに出会えて本当に良かったです。仲間と過去のことや将来の夢についてありのままに語ることで、意外な一面に驚きつつ、信頼感が生まれます。人前で発表することは苦手でしたが、練習を重ねることで楽しくなってきました。自分を変えたい学生にお勧めです。もっとこのゼミの魅力を語りたいのですが字数が足りません。

萱津 理佳ゼミ

担当教員：

萱津 理佳 (かやつ りか)

ゼミのテーマ：

「ICT×○○○」を探求しよう！

ゼミの内容や特徴等：

各自が探求力、発信力、そしてコミュニケーション力を磨くことが本ゼミの目標です。「問い」をたて、調査を通して明らかにし、それを主張するという実践を通して、これらの力を向上させていきたいと考えています。今年は、4つのグループに分かれて「ハイブリッド型授業に関する考察」「スマート農業普及のためのコスト支援に関する考察」「eスポーツを利用した地方創生の可能性」「地方ならではの、都会ならではのAI技術の可能性」について探求しています。



ゼミ生 Voice：

こども学科 小嶋 夏乃

こども学科の私は、普段自分の学科以外の人と関わる機会が少ないため、ほかの学科の活動や、講義の様子などの話を聞いたり、肌で感じたりできることがとても楽しいです。研究では、オンライン授業に関するアンケートを県立大生に実施し、結果の分析を進めています。最終発表会にむけて、グループのメンバーと協力して頑張っています。

金 賢仙ゼミ

担当教員：

金 賢仙（きむ ひよんそん）

ゼミのテーマ：

上場企業って何だろう？

ゼミの内容や特徴等：

本ゼミでは、大学での学びで大切になる「いろは」を身に着け、今後のための種を植え、橋渡しをすることを目標としました。「株式会社をつくらう」というグループワークのほか、長野県の上場企業リサーチ&プレゼン、会計士の視点から企業（ソニー、大塚家具）の分析をした文献のグループ輪読を行い、「上場企業とは」というテーマへの理解を深めました。学生らは、各々のベストを尽くし、素晴らしい成長を見せてくれました。



ゼミ生 Voice：

グローバルマネジメント学科 横山 哲哉

ゼミでは県内の企業について調べて発表をするという事をしました。その為に企業の開示文書や過去の新聞記事の参照方法などを教えていただきました。これらを活用して私はより深い情報を集められました。調べるものに対して適切な検索ツールを使うという事は重要なことだという事を学び、私にとって非常に有意義なゼミでした。

谷口 真由実ゼミ

担当教員：

谷口 真由実（たにぐち まゆみ）

ゼミのテーマ：

詩や絵本を考える

ゼミの内容や特徴等：

このゼミのテーマは「詩や絵本について考えてみよう」です。まず、これまでの人生で出会い、心を揺さぶられたり、励まされたりした詩や絵本を互いに紹介した後、各自詩や絵本にどのような興味や問題意識をもっているか話しあってグループを作りました。詩や絵本が長く読み継がれる理由を考える、様々な観点から絵本を比較する、金子みすゞの詩と生涯を調べる、絵本の言葉やイラストが与える効果を考えるなど、バラエティー豊かなテーマを立て、コロナ禍の中、学外活動ができない制約下ながら楽しく発表準備をしています。



ゼミ生 Voice：

グローバルマネジメント学科 高嶋 瑚

私たちは詩や絵本について考えを深め、その魅力を発信しよう、というテーマで活動しています。詩の表現から金子みすゞや宮沢賢治の人生観を考察したり、絵本が与える効果についてイラストや文章の比較研究をしたりしました。軽井沢絵本の森美術館のグリム童話展にオンラインで参加し、学期末の成果発表に向けて積極的に活動しています。

野口 暢子ゼミ

担当教員：

野口 暢子（のぐち のぶこ）

ゼミのテーマ：

長野県の観光を考える

ゼミの内容や特徴等：

発信力ゼミ・後期8組では、ひとり一カ所長野県内の観光地を担当し、その観光地の魅力や改善点を考察しています。

概要・宿泊施設・食事処・アクティビティなどを調べたのち、似ている国内外の観光地についても同様のことを調べ、比較して、担当した観光地をさらによくする方法を受講生がまとめます。

その改善案を観光協会などにお知らせし、「発信力ゼミ8組」からの発信とします。

いくつかの提案が実際に長野県内の観光地で活用されることを目指しています。



ゼミ生 Voice：

グローバルマネジメント学科

CHIOU WENSING（キウ ブンシン）

発信力ゼミ8組では、自分が興味を持っている長野県内のある地域の宿泊施設や食事処等々、観光する際にこだわる点を調べて発表しています。

その中で、私は諏訪地域を担当しました。資料を調べる時に楽しくて、いつか行きたいと思いました。

また、自分の地域だけではなく、他の人の発表を通して、長野の魅力により一層惹かれました。

馬場 智一ゼミ

担当教員：

馬場 智一（ばば ともかず）

ゼミのテーマ：

哲学カフェをやってみる

ゼミの内容や特徴等：

9組は、一般にも開いた哲学カフェの実施を軸に活動しています。哲学カフェ入門書のブックレポート、学外の方々も交えた哲学対話の実習、班ごとの哲学カフェの実施、実施報告、新たな疑問について文献をもとにレポート作成、振り返りの発表、といった流れです。コロナ禍ではありましたが、感染防止対策を最大限講じた上で、対面で哲学カフェを実施し、知的探究の出発点となる問いを、各人見つけることができました。



ゼミ生 Voice：

グローバルマネジメント学科 割田 千尋

発信力ゼミ9組では、哲学カフェを開催することを目標に様々な活動を行った。特に印象的だった活動は、キャンパスの庭で行った哲学ランドアートである。庭にあるものを利用して抽象的な概念を表現する作品をグループごとに作成した。抽象的な概念について深く考え、それを具現化することの難しさと面白さを感じた。

三浦 正士ゼミ

担当教員：

三浦 正士（みうら まさし）

ゼミのテーマ：

地域課題の解決策を考える

ゼミの内容や特徴等：

人口減少社会の到来に伴い、私たちが住む地域の課題はいっそう複雑化してきています。このゼミでは、私たち住民が自治の主体であるとの認識のもと、住民がどのように地域課題と向き合い、解決していくべきかを、地域の実態や自治体の政策を踏まえながら議論しています。具体的なテーマはゼミ生が主体的に選定しており、今年度は、人口減少社会への対応、空き家を活用した中山間地域の活性化、インバウンド観光、子育て支援に取り組んでももらいました。



ゼミ生 Voice：

グローバルマネジメント学科 仁和 桜子

私たち10組は、地域が抱える諸課題について興味がある分野ごとに3～5人のグループに分かれて研究しています。三浦先生はとても明るく親しみやすい人柄なので、先生と生徒の距離が近くアットホームな雰囲気のクラスです！

宮森 征司ゼミ

担当教員：

宮森 征司（みやもり せいじ）

ゼミのテーマ：

スポーツと法について考える

ゼミの内容や特徴等：

11組では、スポーツと法や社会の関わり合いについて、調査研究してきました。前半は輪読、後半は学生自らがテーマを決めて、グループに分かれて調査学習を進めてきました。コロナ渦での環境への対応が求められた今年度でしたが、どの学生も積極的にプレゼン発表に臨んでおり、担当教員として安心しました。ディスカッションも少しずつできるようになったかな？皆さんのこれから大いに期待しています。



ゼミ生 Voice：

グローバルマネジメント学科 南井 賢大

初めにおこなった輪読は、私としては初めての経験で、そのセクションを担当している人の解釈やまとめ方に違いがあって、一度全部読み終えているのに、また新しい本を読んでいるかのような新鮮さがあったとても興味深かったです。ルールという固いイメージのあるテーマをみんなの考えを聴きながら、理解を深めていけたのは貴重な経験でした。

山本 直樹ゼミ

担当教員：

山本 直樹（やまもと なおき）

ゼミのテーマ：

演劇的発信

ゼミの内容や特徴等：

人との濃厚な接触を由とする演劇的発信をテーマとした授業です。そのため、授業を行うこと自体に葛藤を感じながら展開してきました。外で活動したり、常に窓を開けたり、使い捨て手袋を使用したりして、濃厚接触者にはならないよう工夫して対面式で行って来ました。



ゼミ生 Voice：

こども学科 小原 花唯

私たちのゼミでは表現活動を通じた自己発信をテーマに行っています。今年度はコロナの影響でマスク着用や換気の徹底、距離間を意識した中での活動となりました。マスクで相手の表情が見えづらく、窓が開いていて寒いですが、ゼミの仲間と協力し合い充実した活動が行えています。

授業での活動は、私に変わるきっかけを与えてくれました。私は、相手や場の雰囲気を感じて自分の思いを相手に伝えることを止めてしまうところがありました。授業の中でも最初はそうでしたが、仲間と意見交流の場を重ねる中で、自分の思いを伝えることに自信が持てるようになりました。ゼミでの活動は私を大きく成長させてくれています。

宮城 正作ゼミ

担当教員：

宮城 正作（みやぎ まさなり）

ゼミのテーマ：

オリジナルブランドをつくろう！

ゼミの内容や特徴等：

私のゼミでは「ものづくり」をテーマに、オリジナルTシャツ制作やアクセサリー作り、レザークラフト等に取り組んでいます。この授業で私が大切にしていることは、「好き・やりたい」という気持ちです。好き・やりたいということに一生懸命取り組むことは、充実した人生を送るためにとても大切です。この授業では、ものづくりに関わる知識やスキルだけではなく、好きなことに熱中できる力を身につけてほしいと考えています。



ゼミ生 Voice：

グローバルマネジメント学科 大坪 巧

宮城先生のゼミは、モノづくりを通して主体性・創造性を学ぶことができます。なにより、自分の好きなこと・やりたいことを活動としているため、より多くのことを学び、身につけることができていると思います。普段の授業や講義では学べないようなことを楽しんで学べるので、このゼミに入れて本当によかったです。

「学生相談からのお知らせ」

【学生ご本人との関わり方について】

大学の4年間では、修学上の課題に取り組む、さまざまな人間関係に対処する、就職活動、といったような、自分たちの課題に自力で取り組む時期となります。さまざまな壁に立ち向かう中で学生は悩み、ときとして体調面の不調をきたすことがあります。そういった中で見守り、励まし、勇気づけるという、保護者の皆様の情緒的な支えが学生にとって大きな支えとなります。しかし、高校までとは違い、本人との接点が減っており、大学生となったお子さんに対してどのように関わっていいのかわかることあるかと思えます。限られた接点を通しての保護者との関わりは、学生が人との繋がりを感じることが出来ます。まずは学生の気持ちに寄り添いながら、話を聞いてもらうだけで「安心した」「すっきりした」ということもあります。そのため、以下の声かけが学生にとって支えになることがありますので、ご活用いただければ幸いです。

- 連絡を取った際や、帰省等で会う際に、さりげなく声をかける
「最近、調子どう？」「生活に慣れた？」など、日常会話でかまいません
- 「そうだよね」「不安だよね」「しんどいよね」「よく頑張ってるね」等の共感的な声かけを行う
- 日頃から学生の様子を注意深く見守ってください
「何かあったときには、連絡してね」など、普段からさりげなく伝える
- 学生の様子が心配なときは、気持ちを伝えてもかまいません
「最近元気なさそうだけど、何かあった？」
- メール、LINE等での連絡については、最後に「不安の中で大変だと思うけど、体に気をつけてね」等の心配していることを伝えるメッセージを送る

【学生相談のご案内について】

学生相談では、こうした保護者の皆様からのサポートに加えて、学生のために公認心理師・臨床心理士、保健師による専門的な相談サービスも提供しています。学生の皆さんが充実した大学生活を送れるよう学業、対人関係、心身の健康の悩み等、大学生活の中でさまざまな問題・悩み・心配事に対してサポートを行っています。

保護者の皆様から見て学生ご本人の様子が心配なときには、保護者の皆様からのご相談にも対応していますので、ご心配なときにはお気軽にご相談ください。

お問い合わせ先

学生サポートセンター（学生相談・カウンセラー）：TEL 026-217-5082

学生サポートセンター（健康管理室・保健師）：TEL 026-234-1223

長野県立大学 後援会

〒380-8525 長野県長野市三輪 8丁目49番地 7号

電話：026-217-5082 FAX：026-235-0026

<https://www.u-nagano.ac.jp/for-family/supporters/>

後援会ホームページのご案内

後援会の主な事業や会報のバックナンバーをご覧いただけます。

長野県立大学後援会

検索

